2026年11月25日
株式会社プラチナム

総合PR会社プラチナム、「Campaign Agency of the Year 2026」にて、Japan PR Agency部門シルバーを受賞

株式会社プラチナム（本社：東京都港区、代表取締役：吉柳 さおり）は、アジア太平洋地域を代表する広告・マーケティング専門誌「Campaign Asia-Pacific」が主催する「Campaign Agency of the Year Awards 2026」において、Japan PR Agency of the Year シルバーを受賞したことをお知らせいたします。2024年のゴールド、2025年のブロンズに続き3年連続の受賞となります。

本アワードは広告・マーケティング領域のエージェンシーをクリエイティビティ、影響力、革新性、ソートリーダーシップなど多角的な視点から評価するものです。2026年は世界の主要ブランドのシニアマーケティングリーダー80名超が審査員を務め、「Japan PR Agency of the Year」では当社を含む国内4社がショートリストに選出されました。

■PRを経営の言語へ

当社は今年、PRの役割を「完成した商品やサービスを広める機能」から、企業が社会からどう理解され、期待され、選ばれるかまでを設計する経営機能へと広げる活動を行ってまいりました。顧客、社員、メディア、株主、取引先、地域社会といったステークホルダーとのリレーションを経営資産と捉え、経営トップとの対話を通じて事業・ブランド戦略の上流から伴走するアドバイザリー型の支援を広げています。

■戦略設計から実装まで、PR起点の統合マーケティング

2024年に打ち出した「PRドリブンIMC」のもと、ひとつの商品やブランドを機能や使用シーン、情緒的な価値など複数の文脈から描き、SNS、ショート動画、インフルエンサー、広告、イベントを横断する統合マーケティングを数多く手掛けてまいりました。生活者に指示される文脈を見極め、認知から購買までをひとつの流れとして設計・実装できることが当社の強みです。

■AIに「選ばれる文脈」をつくる。AI検索時代のパーセプション形成

生成AIやAI検索が情報収集の入口になる中、AIがブランドをどのように語るかも企業の見られ方（パーセプション）を左右するようになっています。弊社はこれをPRが担うべき新たな領域と捉え、AIを活用したクライアント支援に取り組み、高い評価をいただいてまいりました。自社開発の「AIOブースター」ではPRの知見を活かしてWEB上の情報を整え、AI

がブランドを正しく理解して紹介できる環境作りを支援しています。社内でもAI活用を統括するポジションを設け、独自のAI基盤とツール開発による業務改革を進めています。

【受賞概要】
リージョン：Japan/Korea
カテゴリー：Japan PR Agency of the Year
エージェンシー名：Platinum Inc.
アワード：シルバー

【受賞のコメント】株式会社プラチナム 代表取締役 吉柳 さおり
　3年連続でJapan PR Agency of the Yearに選んでいただき、大変光栄に思います。
この３年も我々は沢山のチャレンジをしてきました。そのチャレンジをともにしてくださるクライアントの皆様、メディア・パートナーの皆様、そして一つひとつの仕事に全力で向き合ってくれる社員に心から感謝します。私たちはPRを「できあがったものを広めるための機能」だけとは考えていません。ブランド・企業が社会からどう理解され、期待され、選ばれるか。その関係性そのものを設計して経営と事業の成長につなげること、ブランドの新たな価値を創造することを我々のPRで実現するミッションだと考えています。この受賞を通過点に、PR会社という枠にとらわれず日本企業の経営に欠かせないパートナーであり続けるよう精進し続けます。

【株式会社プラチナムについて】
社名：株式会社プラチナム
代表取締役：吉柳 さおり
所在地：東京都港区赤坂4-15-1 ONE AOYAMA14F
設立：2004年5月6日
事業内容：PR・統合コミュニケーション事業、デジタルマーケティング事業、コンテンツ・事業開発事業
URL：https://platinuminc.jp/